



広学図書(広島市中区)がJ1サンフレッチェ広島と協力し、サッカーやサンフレにちなんだ算数ドリル「サントレ」(写真・B5判、40ページ)を作成した。基礎編を「ホーム」、難しい応用編を「アウェイ」とし、小学生の低、中、高学年ごとの計6種類を、14日から広島県内の書店などで販売

選手 アシスト ドリル

広島の出版社がドリル

する。

「野津田(岳人)選手は18ページのテーピングを2つに切ったところ、片方が、もう片方よりも4センチ長くなりました。長いほうのテープは何センチでしょうか」などと出題。算数オリンピック数理解教室アルゴクラブ(東京都渋

谷区)の問題を基に、選手が写真で登場する。

「単純なドリルではなく、問題をしっかりと読み解く思考力を必要とするのが特徴。親子でも楽しめる」と広学図書の大畑政和専務。難易度を☆で表し、最も難しい問題を三つ星にするなどこだわって作った。各5千部で1部500円。(中橋一誠)